キャラクター名
志鳳　蓉子（しほう　ようこ）

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ウロボロス	ワークス	FHセルリーダーC	カヴァー	FHセルリーダー
オプショナル		年齢	28	性別	女
覚醒	感染	衝動	闘争	初期侵食率	37 %
出自	姉妹	経験	敵性組織	邂逅	喪失（欲望）

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1		0			1
感覚	1		0			1
精神	5	1	0			6
社会	1		0			1

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	10		ＲＣ	1		交渉		
回避			知覚			意志	1	1	調達	4	
運転：			芸術：			知識： 遺産	2		情報： FH	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
フェイルノート（必中の弓相当品）	射撃	1r+20	0	11		遺産継承者で取得。射撃攻撃の達成値+10、あらゆるエフェクトで命中のダイスが減少しない。攻撃を外すと暴走を受ける。
「フェイタルアロー」（~99%）	射撃	6r+33	0	11		浸食率+9。
〃（100%～）	射撃	6r+35	0	11		同上。
「リライト」（~99%）	射撃	6r+33	0	11		浸食率+13。<カウンター>によりリアクション時使用。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
ウェポンケース	
思い出の一品	
コネ:情報屋	

ロイス					
対象	感情(pos)		感情(neg)		タイタス	消費
Dロイス：遺産継承者:必中の弓	P		N			
親友：藤咲　由香	P	友情	N	悔悟		
妹：志鳳　千歳	P	庇護	N	隔意		
シナリオロイス:雷門　茜	P	庇護	N	不安		
セルメンバー：新月　拳司	P	庇護	N	不安		
UGNエージェント：雷門　勇武　タイタス化	P	誠意	N	不安		
敵対者：米谷市UGN支部長　タイタス化	P	有為	N	憤懣		

最大財産P: 10	残り財産P： 7

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:Ur	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果： 判定のC値-LV（下限値7）								
無形の影	1	4	メジャー	-	-	効果参照	-	
効果： 判定を[精神]に変更。ラウンド1回。								
原初の赤：アタックプログラム	5	3	メジャー	武器	-	射撃	-	
効果： 命中判定の達成値[LV×2]。								
原初の紫：孤独の摩眼	1	5	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果： 範囲攻撃の対象を自分一人に変更。シナリオLV回。侵蝕値+4。								
カウンター	1	4	リアクション	武器	単体	射撃	80%	
効果 :メジャーのエフェクトと組み合わせ可能。対象：単体の自分への攻撃時、対象に攻撃を行い対決に勝利した側の攻撃が命中する。使用後行動済みに。シナリオLV回。								
勝利の女神	5	4	オート	視界	単体	自動	100%	
効果： 判定後に使用、達成値[LV×3]。ラウンド1回。								
チェンジ	1	3	オート	至近	単体	自動	100%	
効果： 「対象:単体」の攻撃直後、その対象を自身に変更する。ラウンド1回								
プロファイリング	1	-	メジャー	自身	至近	自動	-	
効果： 情報から対象の人物像を導き出す。								
シャドウダイバー	1	2	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果： 相手の感情を読み取る。感情を隠している場合<RC>と<意志>で対決								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

FHセル「インタールード」のセルリーダー。元UGNだったが2年前に離反しFHへ加わった。

オーヴァードに覚醒したのは7年前、女子大生だった時にジャームが起こした無差別殺人事件に巻き込まれ、小さい時から幼馴染だった親友の藤咲由香（ふじさき　ゆか）と共に覚醒した。その際UGNのエージェントに保護され、2人揃ってUGNのイリーガルとして登録、能力の訓練と自分たちが住んでいる地域の警戒・守護といった小規模な活動を行っていた。

大学卒業後、2人は正式なエージェントとなり支部にも所属して活動していたが、3年前に同じ支部所属のオーヴァードで由香と恋仲だった男性がFHのエージェントとの交戦中に命を落としてしまう。友人として塞ぎ込む由香を献身的に元気付けようとしたが、徐々に由香は力に傾倒していく様子を見せるようになっていく。そして2年前のある日、由香は「何をしても亡くなった男性を蘇らせる」という禁断の「欲望（ねがい）」と共にUGNを脱走、手段を選ばないためにFHへの加入を決意してしまう。ただ由香を止めたいという一心で彼女を追いかけついに発見するが、彼女の憔悴した様子を身近で見ていたが故に止める事を躊躇ってしまい、止める事も手を貸すことも出来ないまま膠着状態となっていたその時、UGNの特殊部隊「ストライクハウンド」が由香を捕獲しようと急襲。しかし自分の「欲望」の為にジャーム化も恐れぬ勢いでエフェクトを使い戦い続ける由香を止める事は容易いことではなく、最終的にストライクハウンド側に多数の死傷者を出した後、由香もその場で力尽きる。最後まで自分が「どうしたいか」を選べずただ見ていることしかできなかった蓉子に残されたのは、既にジャームになりかけていた由香を介錯するという役割と、由香が最後に残した「……蓉子なら……わかってくれるって…思ってたのに……」という呪いにも似た言葉、そして由香が適合していた遺産「フェイルノート」だけだった。

由香の行動を責める気にはなれなかった。由香を止めようとしたUGNの判断も正しいものだったと思うし、その結果についても恨もうとは思えなかった。ただ、あの時「選べなかった」自分を悔やんだ。由香を手伝う道を選ぶのか、あるいは敵対してでも止める道を選ぶか。結果がどうなろうとも、きちんと選択して向き合うのが由香の「親友」であった自分の務めだったと心底後悔した。……そして由香の最後の言葉について、こう思うようになった。「彼女は、私に助けを求めていたのではないか」と。……その時、彼女の中に一つの「欲望（ねがい）」が生まれた。「由香にもう一度会いたい。会って、今度こそ彼女とまっすぐに向かい合って、助けになりたい」と。……それは奇しくも親友が叶えようとしたものと全く同じである、「死者を蘇らせたい」という願いだった。